

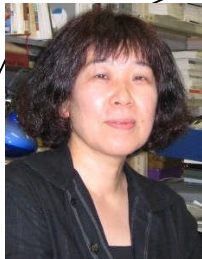
男女がのびのびと暮らせるまちづくりを考える 受講者募集

女性と男性が、機会や役割をともに分かち合い、伸びやかに活躍できるような暮らしやまちづくりに向けて何が必要かを一緒に考えてみませんか。

第1回 9月9日(金) 19時30分～21時

日本近代洋画の なかの ジェンダー

美術作品のなかで、女性・男性がどのように表象されているかに注目し、社会的・文化的な性のありようについて考えます。九州に縁のある近代の洋画家たち、黒田清輝、岡田三郎助、百武兼行らの作品をできるだけ多くとりあげます。



佐賀大学 文化教育学部
教授 吉住磨子 さん

専門/西洋近世美術史

第2回 9月20日(火) 19時30分～21時

男女共同参画は、 武雄市を改革するか？

欧米では、子育ての喜びを知り始めた男性が増えています。オバマ大統領は、近年のアメリカ経済不況により、労働力の主力が男性から女性へ移り、将来、女性が家計の主たる稼ぎ手となる可能性を予測しています。日本においても、男性が「主夫」、女性が主たる稼ぎ手の形が、少しずつ受容されつつあります。仕事、家事、育児の担い手をめぐって、日本、欧米、アジアを比較し、受講者どうしの相互討論もまじえながら武雄市の事情を考えます。



放送大学 佐賀学習センター
客員教授 朱雀成子 さん

専門/英文学(シェイクスピア演劇)、ジェンダー学(女性学)

第3回 10月4日(火) 19時30分～21時

いまどきの〈結婚〉模様 —する理由、しない理由、 してない理由—

晩婚化/非婚化、さらには少子化が問題視される一方、昨今では「婚活」に励む人々が注目されます。非正規雇用による低収入のため「結婚できない男性」や、一人で子どもを産む選択をして「結婚しない女性」が話題にもなります。家族のあり方の歴史的な変遷も振り返りながら、日本社会における〈結婚〉の現在形を探ります。そのなかで、災害(震災)と女性・結婚・家族の関係についても一言したいと思っています。



佐賀大学 文化教育学部
准教授 吉岡剛彦 さん

専門/法哲学(マイノリティの人権)

●●● 3講座とも ●●●

会場

武雄市役所 1階会議室

(佐賀県武雄市武雄町大字武雄 1-1)

申込方法

事前に電話かFaxで、①講座名「男女共同参画公開講座」、②希望する講座(開催日)、③受講者名、④連絡先を男女参画課にご連絡ください。ただし、定員に空きがある場合には、事前予約がなくとも当日参加も可能です。

- 全3回の講座をすべて受講された方には、佐賀大学学長名の「修了証書」を贈呈します。

※ 1回のみ受講もOK

※ 参加無料

※ 定員50名(先着順)

申込み・問い合わせ

武雄市 つながる部 男女参画課

電話 0954-23-9141

FAX 0954-23-3816